



心と心のふれあい

Heart Book

高知医療センター
Kochi Health Sciences Center



ハートにとどく医療を

医療は、患者さんと医療職員
どちらかの一方的なものではなく、お互いのものなのです
患者さんの十分な納得と、医療職員の分かりやすい説明
患者さんのより高い満足と、効果的で効率のよい診療体制
患者さんのプライバシーが守られている喜びと
機能的で気持ちのよい施設と職員の対応
高度な医学を受けられること
安心して安全な医療を提供すること
患者さんとの信頼関係のなかで
患者さんの立場に立った医療の実践
それは、心と心のふれあいのある
高知医療センターのめざすハートにとどく医療

わたしたちは、ハートにとどく医療の実践をお約束します

あなたの声を聴かせてください

みなさんのための高知医療センターと一緒に作り、育てていきたいと思います

「医療の主人公は患者さん」

これは私たちが考える病院づくりの基本です

この基本を実現するため、高知医療センターでは、医師を始め、看護師、薬剤師、管理栄養士などの多様な専門職が、それぞれ医学、看護学、薬学、栄養学などの科学と専門技能を結集することに日々努めています

高知医療センターを英語表記で「Kochi Health Sciences Center」としているのは、このような姿勢を表したものです

医療方針として

「県民・市民から信頼され、温かい人間性に裏打ちされた夢と希望を提供する医療の実践」
を掲げ、つぎのことをお約束します

3つのお約束

「医療の主人公は患者さん」の病院にします

お一人おひとりの人間性を尊重し、十分な説明と納得、患者さん参加の診療を実践します

「患者さんを待たせない」「物を持たせない」「わかりやすい」病院にします

患者さんのプライドとプライバシーを守り、安全で療養環境のよい病院にします

地域医療連携を基本に高度な医療を提供します

地域の医療や保健・福祉の向上のため、県内の病院・診療所、関係機関との連携を重視します

高度な医療機器を備えて高度な医療を提供します

一日も早い日常生活への復帰に協力します

緩和ケアを基本とし、すべての患者さんの心と体の痛みを和らげるように努めます

自治体病院としての使命を果たします

モラルと向上心を持った病院をめざします

大地震などの災害時にも医療機能が発揮できる病院にします

医療職員、学生などの教育・研修・研究に力を入れ、今後の医療・保健・福祉を担う人材を育てます

気持ちのよい空間が ほんとうの安心を約束します

だれもみな健康ですこやかにすごしたい
でも、もしも心配になったなら「かかりつけ医」にご相談ください
「かかりつけ医」と密接に連携して
高い医療技術と心温かさをもった職員が
いつも万全の体制であなたをお迎えします



温かくお迎えする総合案内



ふれあいロビー



患者さんに配慮したエスカレーター



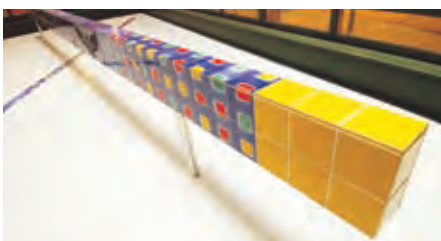
ゆったりとした待ち合い空間



暖かい陽のひかりがさんさん



プライバシーを気遣いながら、さわやかにお迎え



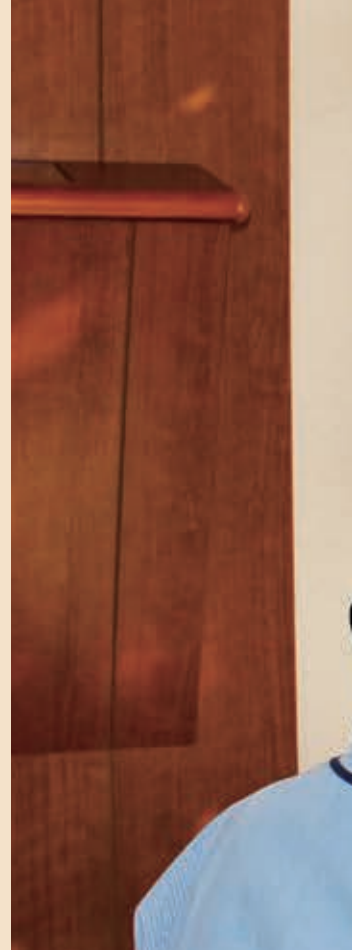
数々のアートが楽しめるギャラリー空間



アート感覚のサイン

「病院の顔は看護師である」 の基本的な考えをめざします

看護師は
それぞれの患者さんやご家族が
何に苦しみ不安に思っているのか
何を必要としているのかなどを的確に判断し
お世話する専門職です
確かな看護技術を提供するとともに
患者さんやご家族のニーズに応じていきます
病院統合情報システムで他の職種と情報を共有し
看護師本来の職務である、ベッドサイドのケアを充実し
快適にすごしていただき
回復にむかうよう全力で取り組みます



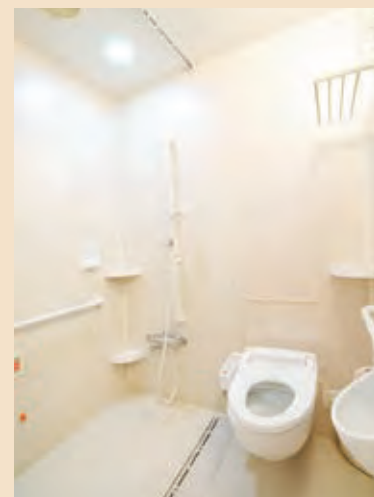
ふれあいステーション



落ち着いた雰囲気の入院室



患者支援センター



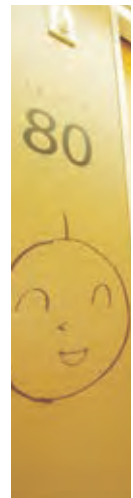
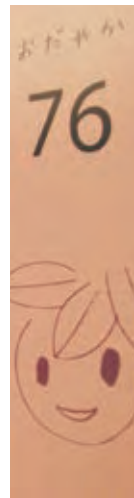
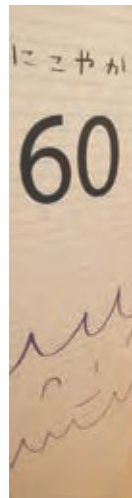
使いやすいユーティリティ



ベッドサイド端末による医療情報やサービスの提供



スタッフコーナー



高知の特産物や自然をモチーフにしたキャラクター

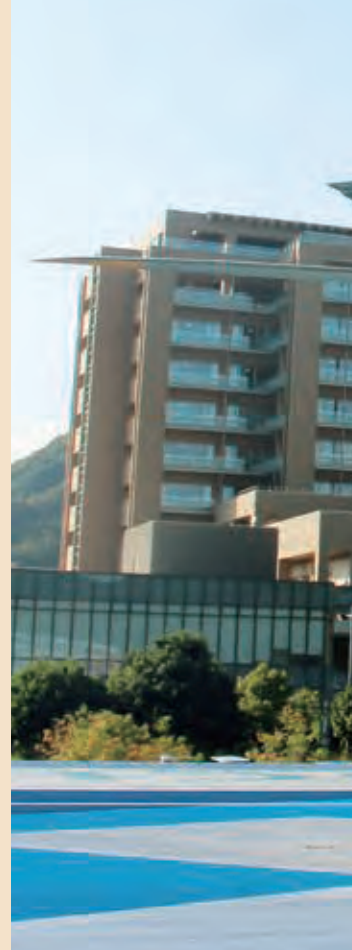


特別個室

いつでも、どこでも 対応できる態勢が整えられています

救命救急センター

救急医療は、心臓疾患や脳卒中などに加え
熱傷、外傷、中毒など緊急性のあるあらゆる疾患に対応することが必要です
重症救急患者さんの受け皿のひとつとして
現場から、あるいは医療機関などから要請のある患者さんを受け入れます
高齢化・過疎化がすすむ本県の現状に対応して
医療連携を密にしてへき地医療と救急医療の体制づくりに努めます
救急医療は「医の原点」の理念のもと
教育現場としても県全体の医療の底上げをめざします



患者搬送車



ドクターヘリ場外離着陸場



DMAT 専用車



欧州型ドクターカー（「FMRC」号）



高知県ドクターヘリ「勇気の花」号 © やなせたかし/フレーベル館・TMS・NTV



ICU



外来処置エリア



大規模災害を想定したコリドールと設備

さらに高度な専門医療を追求しています

循環器病センター

心臓血管外科と循環器内科が一体化できるのが最大のメリットです
患者さんにとって最良の治療法を選択し
より高い治療効果をめざします
心筋梗塞や不整脈のカテーテル手術など
新しい分野の循環器病の治療にも力をいれています
緊急を要する循環器疾患には
24時間すぐに対応できる態勢を整備しており
術後などのベッドサイド・リハビリテーションにも取り組むことで
より早い社会復帰に努めます



(イメージ)



ハイブリッド手術室



アンギオ装置



CCU



心臓CT

がん治療をトータルにサポートします

がんセンター

病院本体の西側にある 4 階建ての建物が、がんサポートセンターです
地域がん診療連携拠点病院として、がん治療を充実・発展させます
最新鋭の治療装置を用いて、安心かつ高度な放射線治療を実施します
PET-CT を用いて、がんの診断能力を向上させます
明るくて機能的な部屋で、落ち着いて抗がん剤治療を受けられます
緩和ケアチームを中心に、緩和ケアの充実に努めます
がんについての色々な悩みは、がん相談支援センターにご相談ください



緩和ケア部門



外来科学療法部門



放射線治療部門（高精度放射線治療装置1）



がんサポートセンター外観



SPECT 室



核医学検査部門（PET-CT）



放射線治療部門（高精度放射線治療装置2）

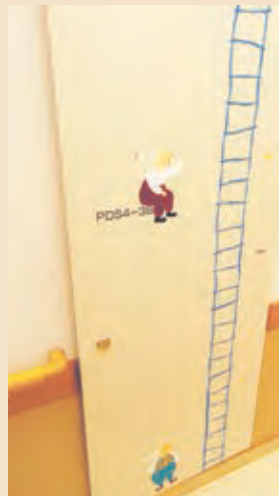
赤ちゃんとお母さんのために ふれあう時間を大切にしました

総合周産期母子医療センター

高知県の周産期医療の中心となるセンターとして
他の周産期施設と連携して周産期医療を守り推進します
また、高知県の周産期医療に従事する全ての職種の
レベルアップのために研修事業を行います
MFICU(母体胎児集中治療室)やNICU(新生児集中治療室)で
母体や新生児の高度医療を行いながら
母児同室や早期母子接触などの優しい医療にも心を込めています



独立して設けられた産科外来



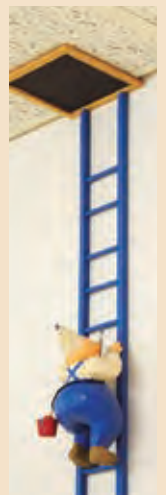
フロアサイン



産科外来診療エリア



こどもギャラリー





物語「大きなホープさんのおはなし」が展開されるフロア



快適な LDR (居室型分娩室)



こどもギャラリー



NICU (新生児集中治療室)

精神科医療を推進していきます

こころのサポートセンター

平成24年度より、精神科・児童精神科を開設し、
精神科医療を推進していきます

特に、児童精神科では、専門病床を備え発達障害などの精神疾患で
入院治療が必要な15歳以下の子どもを受け入れます

さらに、児童福祉・教育関係機関とも連携して

児童虐待などにより心のケアが必要な子どもの診療にも取り組みます



外来 待ち合い室



明るいダイニング



入院室



こころのサポートセンター外観



屋上庭園



フロアキャラクター



児童精神科診察室



院内学級

広域チーム医療で心と心のふれあいを

地域医療センター

高知医療センターは、高度急性期病院として、地域の医療機関のご紹介により、急患や重症患者さんを中心に集中的に治療を行っています

このように地域医療支援病院でもある当院は、地域の医療機関と病診連携・病病連携をはかり、「広域チーム医療」に取り組んでいます

■外来診療の流れ

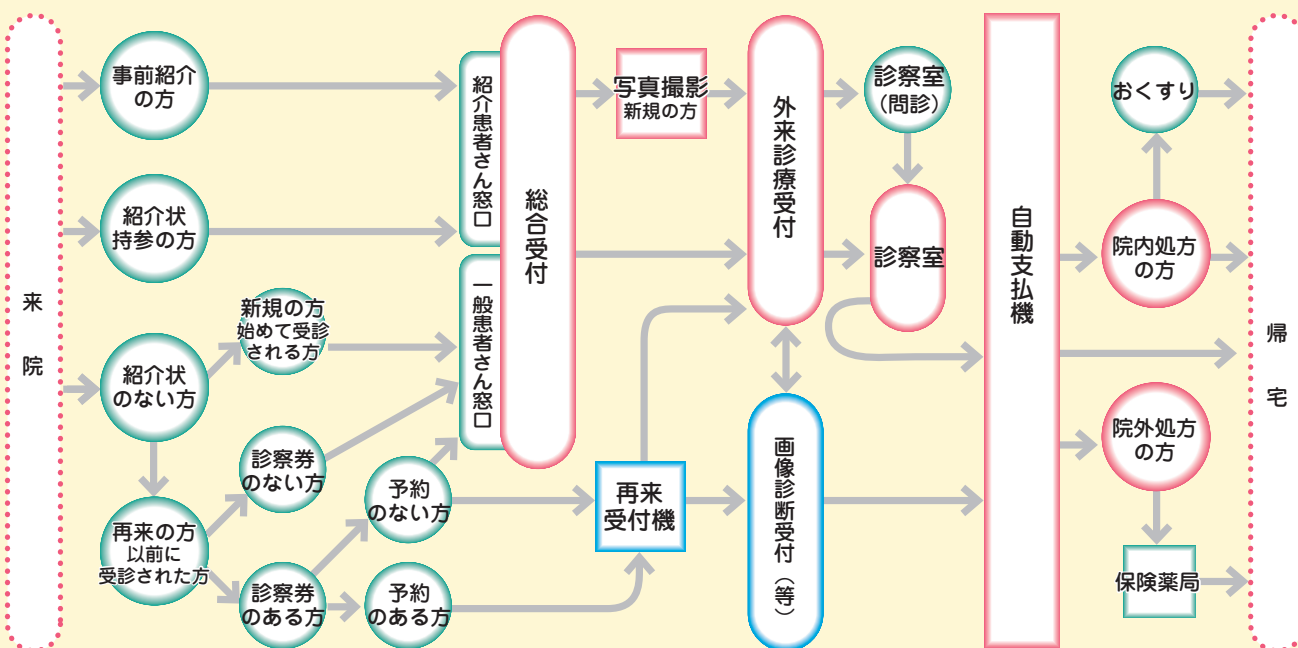
外来診療時間
 午前8時30分から正午
 午後1時から午後4時30分
 土・日・祝日
 休診日 年末年始(12月29日～1月3日)

原則予約制です。予約外の方は当日来院時に診療予約をおこなってください。電話での予約は、「かかりつけ医」からの申し込みのみ受け付けております。

問い合わせ先：高知医療センター

高知市池2125-1

TEL：088-837-3000(代) FAX：088-837-6766



※ 紹介状がなく予約をせず来院された方も診察は可能ですが、当日予約の空き時間の診察となります。したがって、待ち時間が長くなりますし、ご希望の診療科を受診できない場合もあります。また、このような場合は、初診料・再診料とは別に選定医療費が必要となります。緊急の場合は時刻にかかわらず救命救急センターで対応いたします。

※ 整形外科の初診受付は院外の整形外科医からのご紹介患者さんで、地域医療連携室を通じた診療予約のある方のみに限らせていただいております。

■地域医療連携室（前方連携と後方連携）

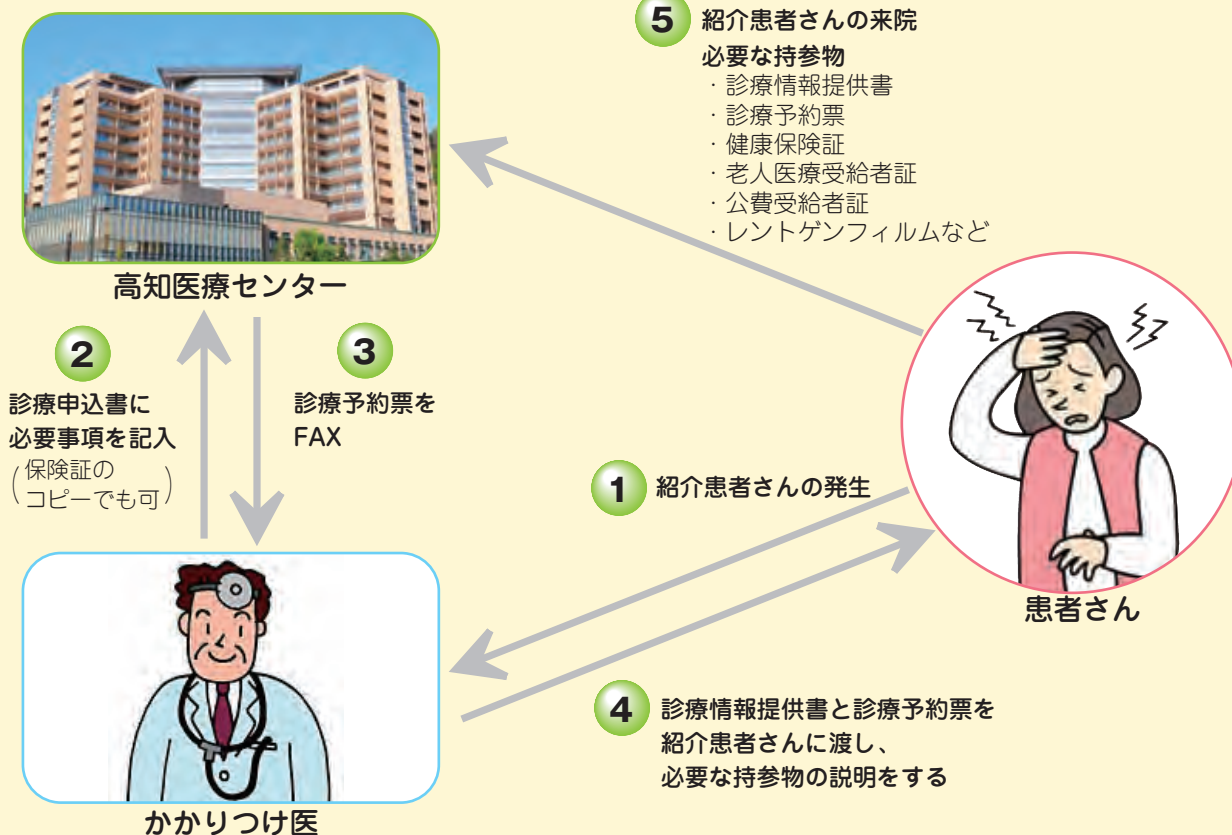
- 紹介患者さんの診療予約の受付
- 登録医の受付
- 医師会オープンシステムの受付
(開放病床・予備紹介・共同指導)
- 医療機器利用の受付
(CT検査・MRI検査・核医学検査)
- 退院・転院調整、医療相談、制度説明など
- 地域関係機関との連携



前方連携

■診療予約の流れ

かかりつけ医から当院の診療予約をしていただきます



- ※ 診察予約のお問い合わせは地域医療連携室まで（8:30～17:00）
- ※ 土・日・祝日、時間外は救命救急センター外来受付まで
- ※ お急ぎの場合など、お電話での仮予約も可能です

入院前から多職種チームで患者さんをサポートします

患者支援センター

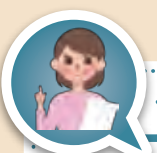
患者支援センターでは、入院される患者さんに納得して安全に安心して治療を受けていただくことができるよう、医師、看護師、薬剤師、管理栄養士、歯科衛生士、事務職員などのチームで入院前から患者さんをサポートします

各職種の役割



医師

治療方針を決め、外来診察時に説明を行います。
患者支援センターに説明の指示を出します。



ソーシャルワーカー

病気から生じる不安や心配事に対しての社会保障や福祉支援、地域や病院との連携をコーディネートします。

地域医療連携室 まごころ窓口で対応しています。

患者さんが入室された面談室に、各職種が出向き各々の説明を行います。



看護師

これまで入院後に行っていた看護問診(病歴、入院までの経過・日常生活の様子など)を、入院前に行います。また、入院に向けての心身の準備や入院後のスケジュールなどについても、落ち着いた環境で説明します。

入院前から、お困りのことや不安なことに対応し、安心して治療を受けていただくことができるよう関わります。



管理栄養士

入院前の栄養評価と栄養サポートを行います。
必要時、栄養指導も行います。



歯科衛生士

入院前のお口の中の状態を評価し、治療による影響について説明を行います。必要時、歯科医師に診察を依頼します。



薬剤師

現在、内服中のお薬、副作用歴などについて確認を行います。
手術を受けられる患者さんに対しては、サプリメントや健康食品の使用についても併せて確認し、必要な説明を行います。



事務職員

入院のご案内や手続きを行います。
医療費について不明な点や心配なことについてのご質問に対応します。



患者さんの入室された面談室に、各職種が出向き説明を行います



待合室



面談室

患者さんの立場に立った サービスの提供

まごころ窓口 受付時間：8:30～17:15

「まごころ窓口」では患者さんの立場に立ったサービスをご提供できるよう
いろいろなご相談をお聴きしています

安心して療養をしていただけるよう、医療費に関することや
患者さんを支援する諸制度の届け出に関するご説明などもご案内します
高知医療センターの患者さんでない方もご相談をお受けしますのでお立ち寄りください

● 各種公費助成制度の説明

● 診療情報開示の窓口

● 医療安全に関するご相談窓口

● ご意見・ご要望の窓口

● 医療相談窓口

● 病院ボランティアや患者さんを支援する活動の窓口

● セカンドオピニオン相談外来受付

● 禁煙外来受付





患者さんの立場に立ってご相談を承ります



まごころ窓口フロア



相談室

高知医療センター病院ボランティアグループ

ハーモニーこうち

私たち、ハーモニーこうちは、高知医療センターを訪れる患者さんやご家族に、安心と安らぎを感じていただくため、より良い医療環境の向上に貢献できるよう、日々、自主的な活動を行っています。
緑のエプロンがトレードマークです。
ごいっしょに活動して下さる方、歓迎します！

高知医療センターでは、『県民・市民のみなさまと地域に開かれた病院』を実現するために、医療チームの一員として病院ボランティアをお願いしています。定例的に病院との協議を行いながら活動していただいています。

ハーモニーこうちのみなさんには、活動をとおして、より良い医療環境の向上、すこやかな地域社会づくりへの支援をしていただくとともに、患者さんにより近い立場であるボランティアさんの声を、病院の運営改善にもつなげていきます。

ボランティア加入や活動などに関するお問い合わせは、
『まごころ窓口』ボランティア担当 電話 088-837-3000（内線 2172）まで

活動メニュー

- ・ 外来患者さんへの支援
- ・ 入院患者さんの案内
- ・ すこやかフロア（小児入院フロア）の見まもりなど
- ・ 生け花
- ・ 花づくり ガーデニング
- ・ 図書サービス
- ・ 院内各種イベントへの参加
- ・ 研修受け入れの協力
- ・ イエローシートキャンペーン
- ・ 患者家族の滞在施設での活動 等

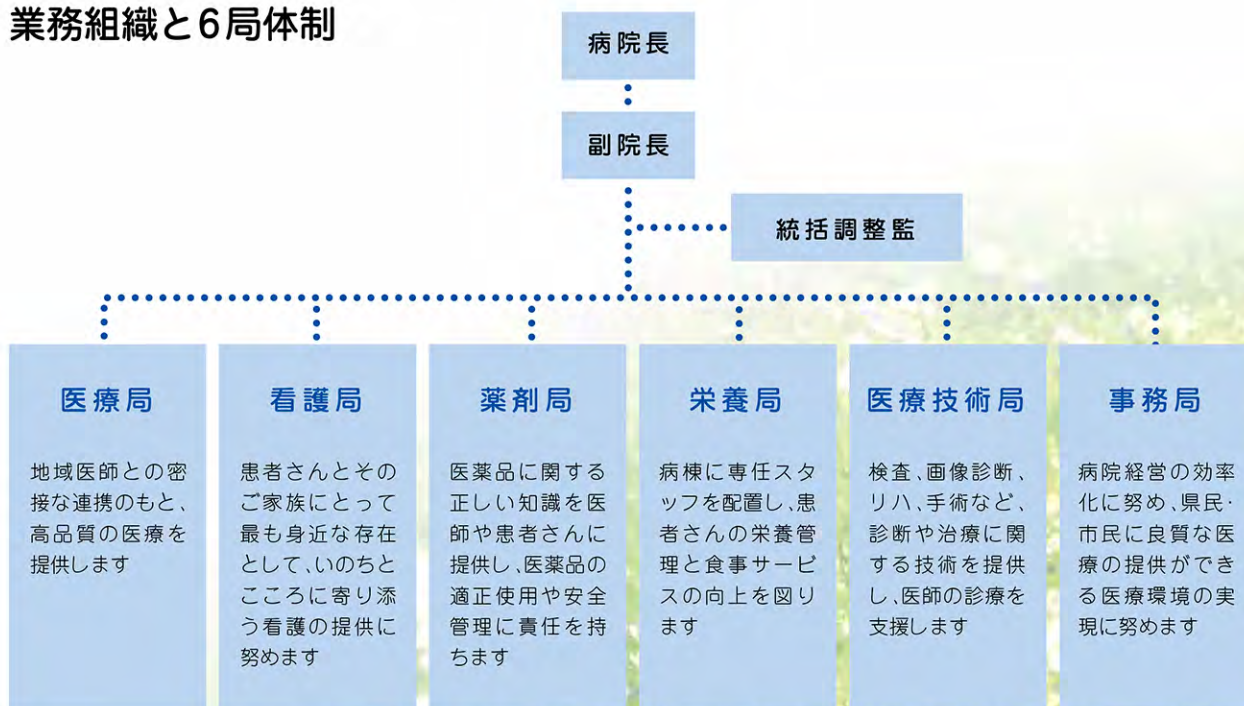




小児見守り

チーム医療のなかまたち

業務組織と6局体制

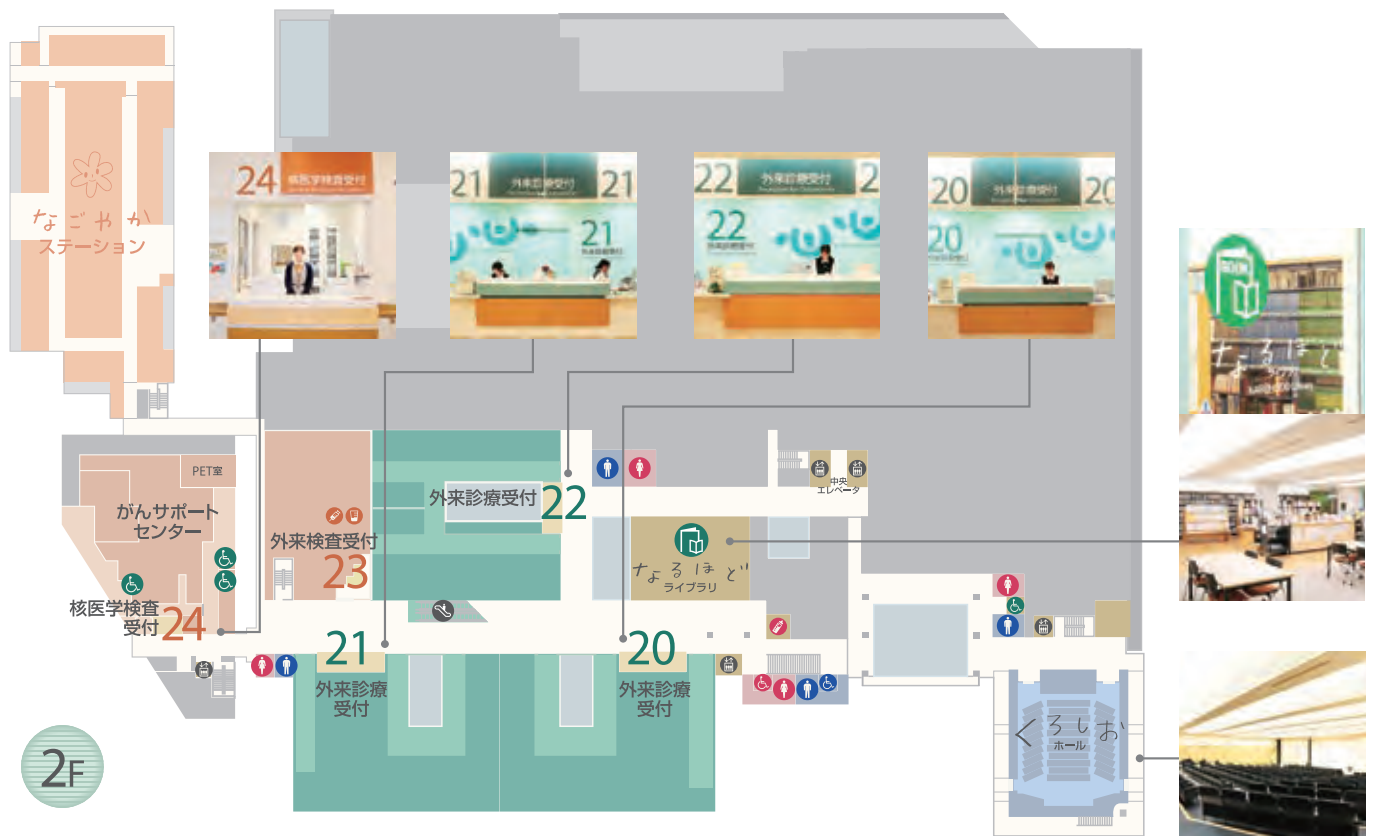
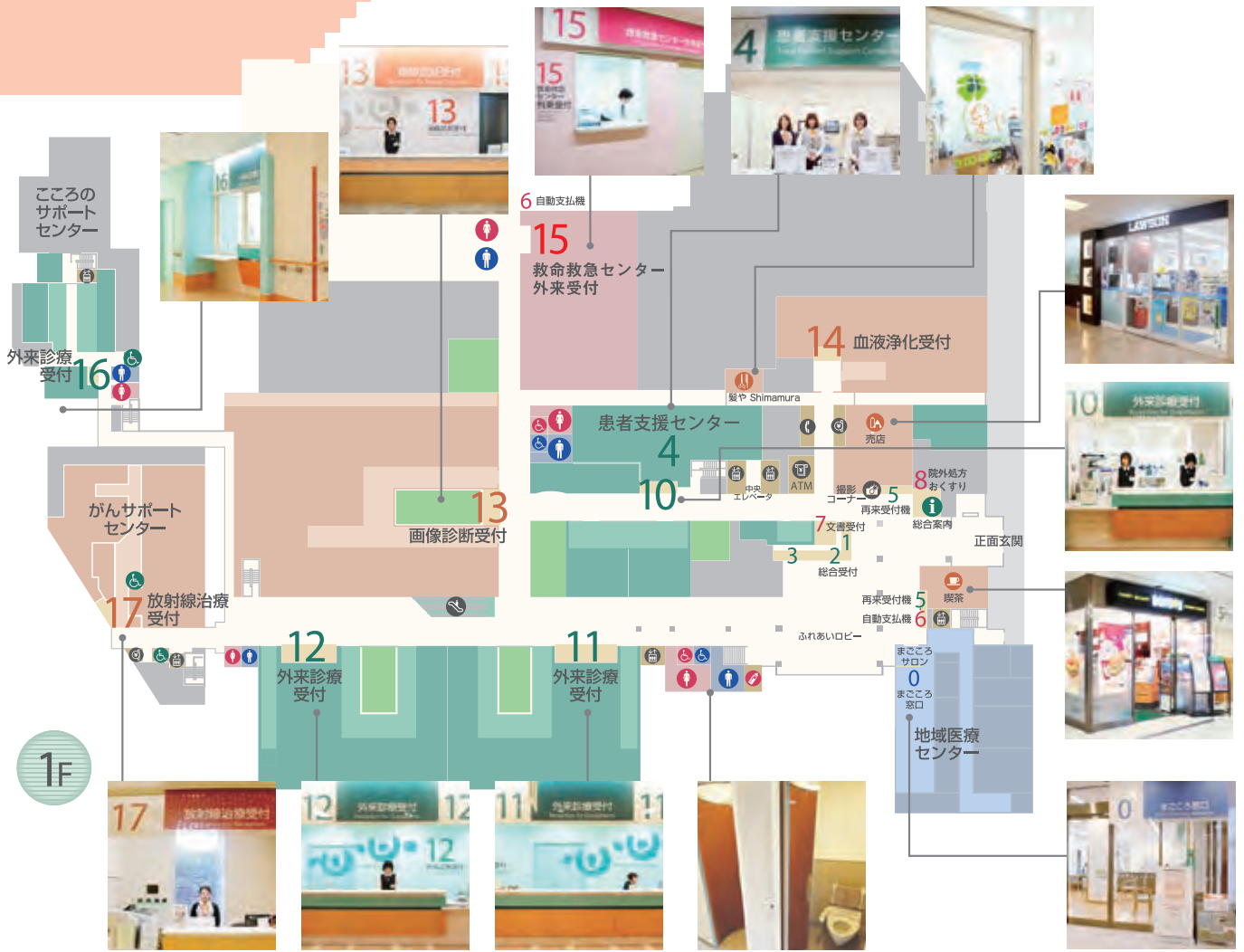


診療科目

あ 移植外科	腎移植手術やシャント手術、献腎移植登録
か 眼科	白内障、緑内障、眼底疾患や斜視、弱視などの眼科診療と手術
感染症科	SARSや細菌性赤痢など、一類、二類感染症に対応
緩和ケア内科	がん患者さんや家族の困っていることを解決して、生活の質を高める医療を提供します
救命救急科	救急指導医、救急科専門医、外傷専門医、クリニカル・トキシコロジスト（中毒専門医）、フライトドクター、フライトナースなどが中心に診療
形成外科	広範囲熱傷の皮膚再建や指肢切断の再接着など
血液内科・輸血科	白血病などの造血器腫瘍や各種貧血・血小板減少症の診療
検査診断科	各種の検体検査などによる日常診療のバックアップ
呼吸器内科	呼吸器疾患の内科的な診療・アレルギー疾患や自己免疫疾患に対する診療
呼吸器外科	肺がん、気胸などの呼吸器疾患に対する安全を重視した外科的治療
さ 産科	ハイリスク妊娠を中心に高度、かつ母体に優しい医療
歯科口腔外科	有病者の歯科治療、口唇・口蓋裂治療、口腔内病変の診療
耳鼻咽喉科	耳、鼻及び咽喉頭をはじめ頭頸部領域の疾患の診療
集中治療科	入院重症患者さんに対する24時間体制での治療

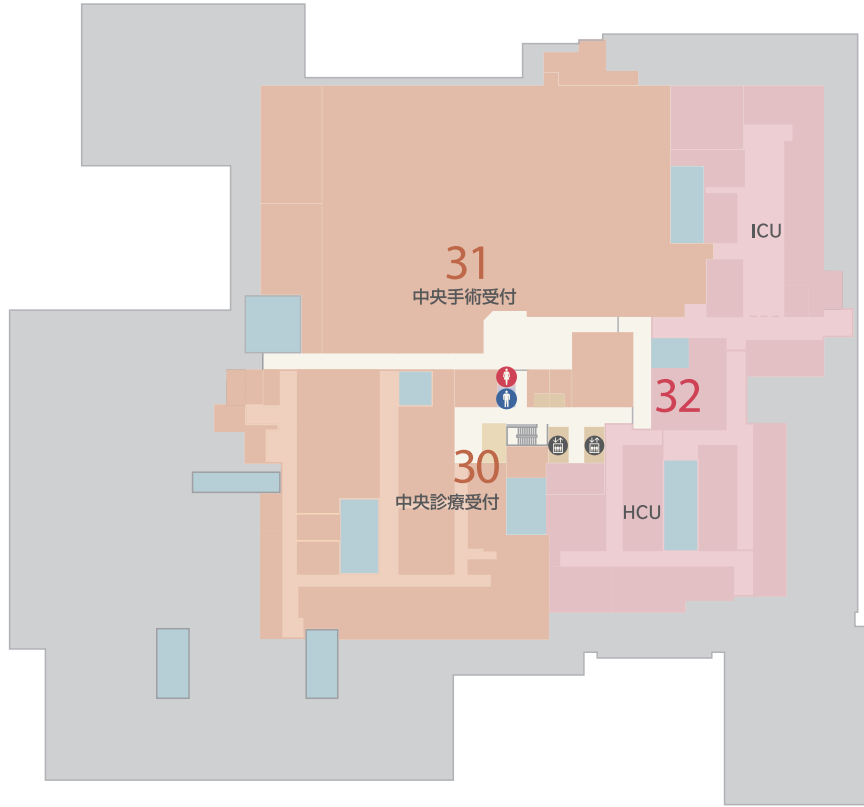
腫瘍内科	がん全般の診断と化学療法
循環器内科	心筋梗塞や狭心症に対する冠動脈インターベンション、心臓リハビリテーション、不整脈に対するカテーテル・アブレーションなど循環器疾患の診療
心臓血管外科	冠動脈バイパス手術やステント人工血管治療など心臓や血管の外科的な治療
消化器内科	食道、胃、十二指腸、小腸、大腸の内視鏡を使用した処置と、肝臓・胆嚢・胆管・膵臓の処置を行っています
消化器外科・一般外科	腹腔鏡手術などの消化器疾患に対する外科的な治療
小児科	小児の救急医療と専門医療（新生児医療を含む）の両立
小児外科	子供特有の外科的疾患に対しての出生前からの診療
神経内科	変性疾患、脱髄疾患やその他の神経疾患の内科的治療
腎臓内科・膠原病科	蛋白尿・血尿からの腎炎の治療、腎不全の管理
整形外科	骨折や靭帯損傷、腱断裂、脊椎損傷などの早期治療、早期離床
生殖医療科	生殖補助技術の提供や心理的支援、周産期管理
精神科・心療内科	統合失調症・うつ病・双極性障害を始めとした、精神疾患の急性期治療
児童精神科	15歳以下の子どもの精神疾患や発達障害に関する医療
総合診療科	受診ご希望の科は決まっていますか？全人的な視点からの診療
た 地域医療科	無医地区巡回診療やへき地診療所などへの代診支援
糖尿病・内分泌内科	糖尿病や甲状腺、頸部のしこりについての診療
な 乳腺・甲状腺外科	乳がんなど乳腺疾患の手術や補助療法及び甲状腺疾患の手術療法
脳神経外科	脳血管障害、脳腫瘍、頭部外傷などに対する外科的な治療及び脳血管内手術
は 泌尿器科	尿と尿路についての専門的な治療
皮膚科	皮膚に関する問題を専門的に解決
病理診断科	組織や細胞の顕微鏡診断による日常診療のバックアップ
婦人科	婦人科悪性・良性疾患及び救急疾患の診療
ペインクリニック科	腰痛、がん性疼痛などの治療によるQOLの向上を
放射線科	画像診断、インターベンション治療（IVR）など
放射線療法科	画像診断、放射線治療、インターベンション治療（IVR）など
ま 麻酔科	患者さんの状態に応じた最適な麻酔法を選択し、安心な手術を
ら リハビリテーション科	超早期リハや術後のベッドサイドリハで早期離床を

外来フロアご案内





3F

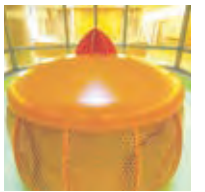
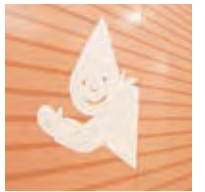


ICU・HCU・中央手術・中央診療など、高度な医療機能を集約
高度医療の心臓部ともいえるフロアです

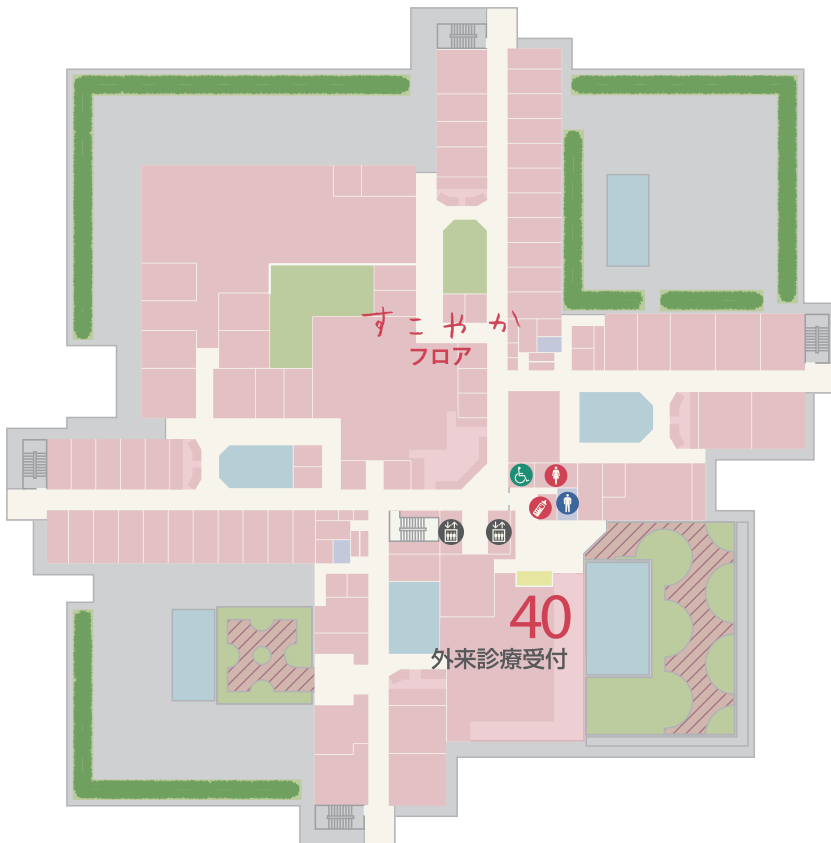
すこやかフロア 総合周産期母子医療センター 産科外来・産科・小児の入院フロア



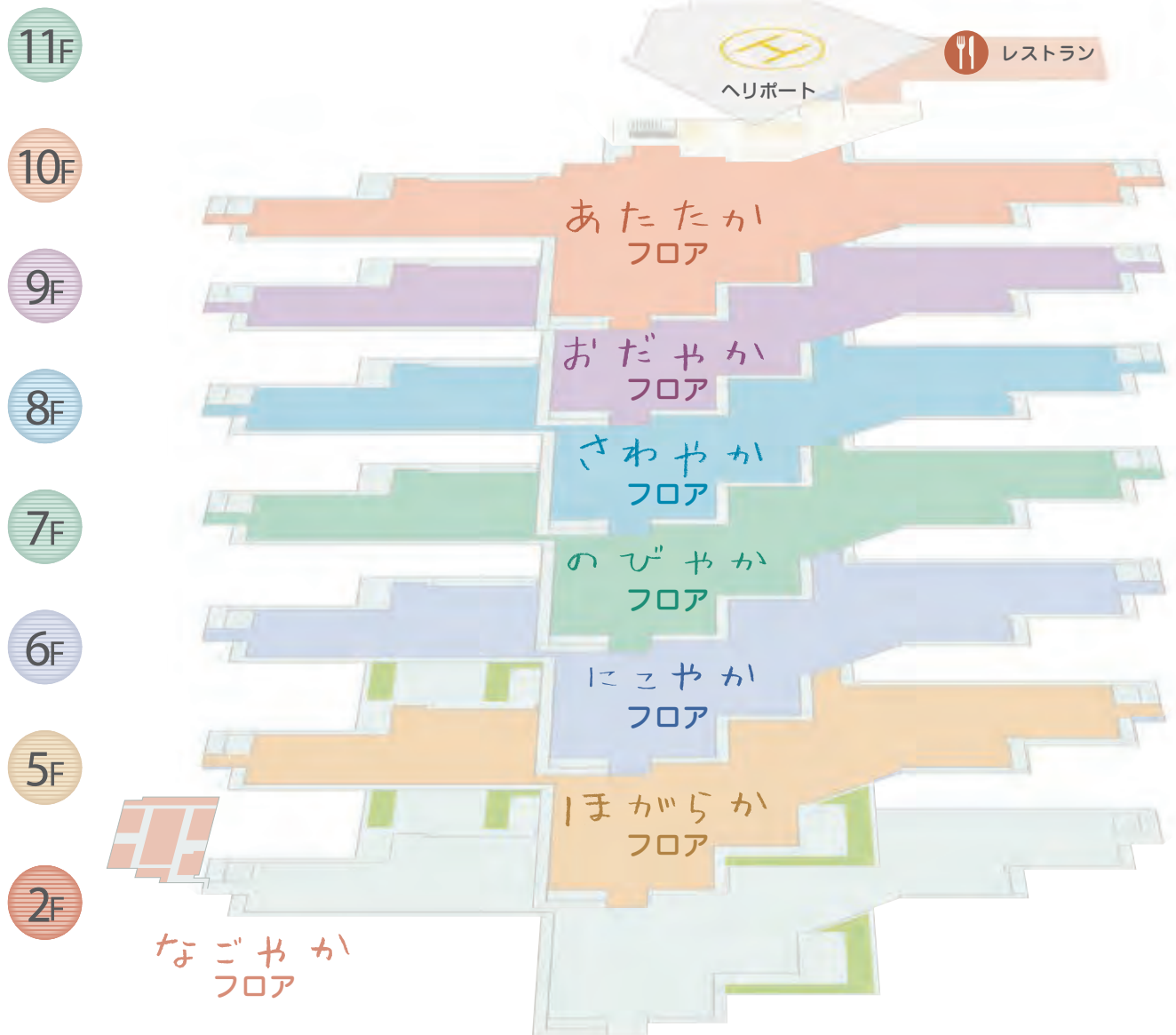
すくすくとすこやかに育つような明るく楽しい未来を感じさせる
桜並木の明るく可愛らしいイメージカラーと
高知が生んだ植物学者・牧野富太郎博士によって広められた桜のキャラクターです



4F



入院フロアご案内



レストラン



レストラン



すこやかフロア屋上庭園



再来受付機・自動支払機



ATM



ラウンジ



いやしの環境づくり

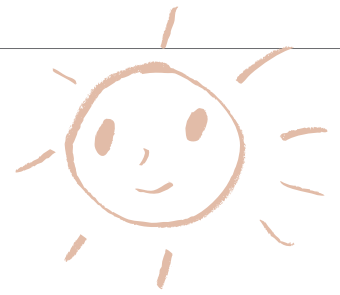
フロアの呼び名や、キャラクター、テーマカラーなど使い方にホッとしていただけ空間をめざしました

10F

あたたかフロア 消化器内科・感染症・結核フロア



高知の温暖な気候の源と言える明るい太陽光をイメージしたカラーと心身をいやし、安心感や落ち着きを感じさせ温かく包み込んでくれるキャラクターです



9F

おだやかフロア 循環器系疾病・糖尿病科フロア



高知の県花である山桃をイメージしたカラーと優雅さを表現した上品なピンクの、循環器系の病気による苦しさをいやしてくれるような、おだやかで落ちついたキャラクターです



8F

さわやかフロア 整形外科・歯科口腔外科フロア



さわやかな川面を渡る風や水しぶきなどを表現したイメージカラーと清流四万十川をはじめとする高知の豊かな川のキャラクターです



7F

のびやかフロア 血液内科・呼吸器系疾病・皮膚科・眼科フロア

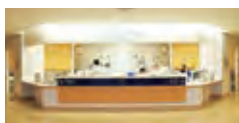


新鮮ですこやかな印象の豊かな緑の葉を表現したイメージカラーと全国屈指の森林に恵まれた高知の樹木のキャラクターです



6F

にこやかフロア 脳神経外科・耳鼻咽喉科フロア



潮風や水平線に広がる空を表現したイメージカラーと盛んな水産業を誇り、桂浜などの景勝地にも恵まれた高知の海のキャラクターです



5F

ほからかフロア 婦人科・泌尿器科・外科フロア



活気と若々しさを感じさせほがらかにさせてくれるイメージカラーと高知の四季を彩る実り豊かな果実のキャラクターです

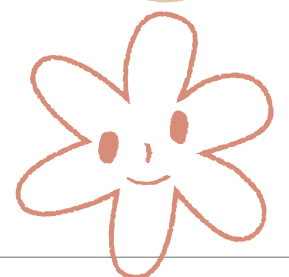


2F

なごやかフロア 精神科・児童精神科フロア



快活でおおらかな高知の大地をイメージしたカラーと豊かな風土、大自然がもたらす心休まる心地よい空間をつくりだしてくれるキャラクターです



開院までの年次経緯

1991年 3月	病院管理研究協会より「中央病院整備基本調査」提出
1992年 4月	病院管理研究協会、コンピュータシステム研究所より「高知市立市民病院分析基本調査報告」提出
1993年 2月	県議会 「統合について可能性があるかどうか市と協議していきたい」と知事答弁
5月	医務課、病院局、県と高知市の事務レベル協議開始
6月	医療システム科学研究所に「高知県立中央病院・高知市立市民病院統合基本調査」を委託
9月	高知県立中央病院・高知市立市民病院統合検討委員会発足
1995年 2月	病院統合検討委員会報告 「各々単独で整備するよりも両病院を統合して整備する方が、県民・市民に対する医療面の貢献が大きいことから、課題を解決して統合を推進すべきと思われる。」
7月	市議会 「市民病院対策特別委員会」設置
8月	県・市各々が世論調査を実施
12月	世論調査を公表（過半数は統合に賛成）
1996年 4月	「高知県立中央病院・高知市立市民病院統合問題合同検討チーム」発足
5月	県議会 病院統合問題調査特別委員会設置
12月	市議会 「市民病院対策特別委員会」中間報告 県議会 「病院統合問題調査特別委員会」報告
1997年 1月	「統合病院立地場所合同研究チーム」発足
12月	市議会 「新病院については、統合して池地区に立地すべき」で承認
1998年 4月	高知県・高知市新病院整備推進室を設置
6月	新病院整備基本計画検討委員会発足
11月	高知県・高知市病院組合（一部事務組合）設立
1999年 3月	新病院整備基本計画策定
2001年 2月	（仮称）高知県・高知市新病院整備運営事業「実施方針」策定・公表
3月	公募により名称を「高知医療センター」に決定
4月	新病院開設許可、地方公営企業法一部適用
5月	「高知医療センターPFI事業化検討委員会」設置
6月	「統合情報システム基本計画策定プロポーザル審査委員会」設置
8月	高知医療センターPFI事業化検討委員会答申
9月	高知医療センター整備運営事業にかかる特定事業の選定・公表
10月	「高知医療センター整備運営事業PFIプロポーザル審査委員会」設置
11月	第1次募集開始
12月	第1次審査実施
2002年 3月	第2次募集開始 高知医療センター統合情報システム基本計画策定
7月	第2次審査実施（最優秀提案者にオリックスグループを選出）
8月	優先交渉権者と契約交渉開始

2002年 9月	「統合情報システム評価委員会」設置
10月	「統合情報システム評価委員会」提言書 PFI基本協定締結 SPC「高知医療ピーエフアイ株式会社」設立
12月	PFI事業契約締結
2月	高知医療センター新築工事「起工式」IT基本協定締結
2003年 3月	病院組合業務システム開発整備委託契約締結 SPC業務システム開発整備・運営保守管理及び 病院組合業務システム運営保守管理委託契約締結
2005年 2月	へき地医療拠点病院に指定される エイズ治療拠点病院に指定される 第1種感染症指定医療機関に指定される 総合周産期母子医療センターに指定される

開院後の年次経緯

2005年 3月	高知医療センター開院 救命救急センターに指定される
2007年 4月	地域医療支援病院に指定される
7月	DPC準備病院に承認される
2008年 2月	地域がん診療連携拠点病院に指定更新される
2009年 2月	日本医療機能評価機構認定病院として認定される
4月	DPC（診断群分類包括評価）による入院医療費の定額支払制度の導入
12月	高知医療センターPFI事業契約解約合意に係る確認書を締結
2010年 3月	高知医療センター整備運営事業PFI事業契約解約合意書を締結 高知医療センター整備運営事業PFI事業契約終了
8月	欧州型ドクターカー（『FMRC』号）の導入
11月	高知県立大学（旧高知女子大学）と包括的連携に関する協定締結
2011年 3月	高知県ドクターヘリ（『勇気の花』号）の導入
2012年 2月	統合情報システム（IIMS）更新
3月	「くじらネット」による電子カルテの地域公開開始
4月	こころのサポートセンター（精神科フロア）新設
5月	ドクターヘリ場外離着陸場設置
2014年 3月	日本医療機能評価機構「病院機能評価付加機能（救急医療機能）」の認定を受ける
2015年 5月	開院10周年記念式典実施
2017年 4月	がんサポートセンター新設
11月	患者支援センター新設
2019年 2月	統合情報システム（IIMS）更新
2020年 2月	新型コロナウイルス感染症重点医療機関に指定される

許可病床数

一般病床	548 床
結核病床	20 床
精神病床	44 床
感染病床	8 床
合 計	620 床

ケアユニット

ICU	12 床
HCU	20 床
NICU ^{※1}	12 床
MFICU ^{※2}	3 床
GCU	15 床
SCU	18 床

※1 新生児集中治療室 NICU では、超低出生体重児や先天性奇形など、一般の医療機関では対応困難な症例への対応ができるようにしています

※2 母体胎児集中治療室 MFICU では、基礎疾患を持つ妊産婦の総合的な管理を行い、ハイリスクの出産にもすくに対応できるようにしています

個室・4床室

特別個室	8 室
個室	117 室
4 床室	83 室
重症個室	29 室
無菌治療室	7 室

設備等

一種感染症入院室	2 室
二種感染症入院室	6 室
LDR ^{※1}	3 室
手術室	11 室
内視鏡室	3 室
血管撮影および血管内治療室	3 室
バイブラス ^{※2}	1 室

※1 居室型分娩室（LDR：Labor Delivery-Recovery）陣痛から出産、回復までを一つの部屋で移動することなく行える新しいタイプの分娩室です。自宅やホテルにいる雰囲気のため、リラックスして出産に臨めます

※2 熱傷患者さんの回復期に使用できるバイブラスを備えています



高知県・高知市病院企業団立

高知医療センター



住所 〒781-8555
高知県高知市池2125番地1
TEL 088-837-3000
FAX 088-837-6766
Eメール khsc_info@khsc.or.jp
URL <http://www.khsc.or.jp>
駐車場 577台

外来診療受付 午前8:00～午後4:00
診療時間 午前8:30～午前12:00
午後1:00～午後4:30
休診日 土・日・祝日
年末年始
(12月29日～1月3日)



JR高知駅から 高知龍馬空港から
タクシー 約15分 タクシー 約15分
バス 約30分

